



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社  
コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	177,558	—	17,049	—	13,993	—	5,778	—
26年12月期第1四半期	195,709	—	18,517	—	17,001	—	9,080	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 9,504百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 3,315百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	9.62	9.61
26年12月期第1四半期	15.03	15.03

(注) 1. 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また3月決算の連結対象会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、前連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、前第1四半期連結累計期間については、従来3月決算会社であった連結対象会社は3ヶ月(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、12月決算会社である連結対象会社は6ヶ月(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	719,520	—	498,289	—	—	58.9
26年12月期	699,108	—	492,844	—	—	60.0

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 423,604百万円 26年12月期 419,652百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	19.00	—	6.40	—
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	7.40	—	7.40	14.80

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、平成26年12月期の第2四半期末配当金については、株式分割前の金額を記載しております。

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	350,000	—	36,500	—	34,500	—	17,000	—	28.30
通期	760,000	—	86,000	—	80,000	—	44,000	—	73.24

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 前連結会計年度(平成26年12月期)は、決算期変更により変則的な決算となっております。このため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	620,834,319 株	26年12月期	620,834,319 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	19,847,933 株	26年12月期	20,036,933 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	600,891,136 株	26年12月期1Q	604,002,438 株

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、従来3月決算会社であった連結対象会社は3ヶ月（平成26年4月1日～平成26年6月30日）、12月決算会社である連結対象会社は6ヶ月（平成26年1月1日～平成26年6月30日）を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年3月31日）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、中国やアセアンの景気拡大テンポが緩やかななか、積極的なパーソナルケア関連商品の普及活動により販売は堅調に推移いたしました。

一方、日本国内におきましては、消費税増税による需要の落ち込みが一巡し、消費者マインドが緩やかな回復傾向にあるなか、継続的な高付加価値パーソナルケア関連商品の提案を実施した結果、販売は安定的に推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高177,558百万円、営業利益17,049百万円、経常利益13,993百万円、四半期純利益5,778百万円となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### ① パーソナルケア

##### ● ベビーケア関連商品

海外では、主要参入各国において地域の特性に合った機能を搭載した商品の販売促進に取り組み、シェアと売上の拡大に努めてまいりました。重要市場となります中国におきましては、インターネット販売やベビーケア専門店との取り組み強化を図り、シェアの拡大に努めてまいりました。また、需要の高まりが見込まれているインドにおきましては、中間所得者層をターゲットに低価格で付加価値の高いパンツ型紙オムツの販売活動を積極的に行い、販売エリアの拡大と普及促進に努めてまいりました。

国内では、ふんわりびたりにモレ安心の『ムーニー』ブランドから、病産院のみで展開していた『ムーニー エアフィット 新生児用小さめ』を店頭でも発売するなど、新提案を継続的に実施し、市場を牽引するとともに、ディズニーキャラクターのかわいいデザインと、たっぷり吸収の『マミーポコ』ブランド、おねしょパンツなどのサブカテゴリー商品とともにラインアップの拡充とリレーション強化を図ってまいりました。

##### ● フェミニンケア関連商品

海外では、重要市場となります中国を筆頭に、高い安心感を求められる夜用ナプキンや優れた快適性が求められる薄型ナプキンなどの高付加価値商品の販売が拡大するとともに、インドにおいてブランド浸透が進み、業績が安定的に推移いたしました。

国内では、『ソフィ』ブランドから、まんなか吸収クッションで伝いモレ防止の『ソフィ 超熟睡 ガード』を360°全方位で伝いモレ防止を強化した商品に改良したほか、まるで香水のような上質な香りのパンティライナーとしてご支持いただいている『ソフィ Kiyora フレグランス』シリーズから100%天然成分配合でワンランク上の香りが続く『ソフィ Kiyora フレグランス Premium』を新発売いたしました。また『センターイン』ブランドからは、すっきりとした香りの『センターインコンパクト フレグランス クリアハピネスの香り』を新発売いたしました。第2四半期会計期間においては主力品の『ソフィ はだおもし』シリーズの商品改良を図るなかで多様化する女性のニーズに応じた新価値提案と市場の活性化に努めてまいります。

##### ● ヘルスケア関連商品

高齢化の進行により拡大が続くヘルスケア国内市場におきましては、尿ケア専用品では「ズボンにしみない、目立たない」工夫をした男性用尿モレ専用品『ライフリー 男性用 さわやかうす型パッド』の認知拡大に取り組み市場の拡大に努めてまいりました。また、肌の負担を低減した『チャームナップ ふんわり肌』シリーズに少量用、中量用を新発売したほか、薄いのにしっかり吸収の『チャームナップ 吸水さらフィ』シリーズに大入り数パックを導入するなど、“軽い尿モレ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動に継続して取り組んでまいりました。

介護用品では、夜用尿とりパッド『ライフリー 一晩中お肌あんしん尿とりパッド』に夜間の肌トラブルを低減し、安心して過ごしていただけるよう肌カブレしにくい革新的な機能を追加搭載した商品に改良し、介護用品市場の成長をリードしてまいりました。また、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて販売促進にも積極的に取り組んでまいりました。

#### ●クリーン&フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、清潔意識の高まりと住環境やライフスタイルの変化に伴い、限られた時間のなかで簡単に効果的なお掃除をしたい、リビングでも簡単・安心して除菌、手口周りを清潔にしたいというお客様が増えているなか、「片手でポン!で すぐキレイ」のボックス型ウェットティッシュ『シルコット ウェットティッシュ』シリーズの本体と外出用に春限定の「パステルレースデザイン」を採用したほか、花粉の季節に「ミントの香り」でスッキリとお掃除していただけるよう『ウェーブ ハンディ取り替えシート』と『ウェーブ 超毛束ドライシート』に「す〜っとミントの香り」を限定発売し、市場の活性化に努めてまいりました。

この結果、パーソナルケアの売上高は156,245百万円、セグメント利益（営業利益）は16,810百万円となりました。

#### ②ペットケア

犬・猫の“排泄”に焦点を当て、人とペットの“共生社会”及び“少子高齢化”に対応する、「市場創造の早期化」と「健康寿命延伸」を実現する為の新しい提案に取り組んでまいりました。

ペット用排泄ケア商品では、寝たきりゼロを目指し、ペット用紙オムツを失禁ケア専用紙オムツにリニューアルするなか、安心して愛犬とのお出かけが出来る『マナーウェア 女の子用』を発売いたしました。ペットシートでは、「フローラルアロマの香り」による消臭機能に加え、おしゃれなデザインを施した『デオシート ふんわり香る消臭デザインシート』により新しいセグメントを創造し、市場の活性化に努めてまいりました。また、猫用システムトイレでは、排泄の後、猫が砂かきするたびに「ナチュラルグリーンの香り」で排泄の臭いを消臭する『デオトイレ ふんわり香る消臭・抗菌サンド』を新発売し、ペットシート同様、新たなセグメント創造に取り組んでまいりました。

ペットフード商品では、副食を強化してまいりました。犬用副食では、愛犬の年齢や成長段階に合わせたおいしい副食『愛犬元気 ハッピーステップ』を新発売したほか、『愛犬元気 ベストバランス』シリーズからは犬種別に健康維持のサポートを考えた副食を新発売いたしました。猫用副食では、『銀のスプーン』ブランドのおいしいおやつ『ハッピー』シリーズから高齢用をラインアップし、『ハッピーソフト!』、『ハッピービューレ!』、『ハッピージュレ!』を新発売いたしました。また、犬用フードでは、『愛犬元気 ベストバランス』シリーズから犬種別の国産鶏ささみレトルトパウチを発売したほか、電子レンジで温めて与える専用レシピのスーパーグルメタイプ『銀のさら あったかKitchen プレーン』をペット専門店向けに発売し、市場創造を図ってまいりました。

北米市場におきましては、犬用シート商品で、2倍の吸収力と瞬間吸収を実現した『Super Dry』と猫用消臭ビーズの商品拡充を図り、新市場の活性化に努めてまいりました。猫フードでは、米国初のコンセプトとなる猫用ウェットタイプおやつを発売し、新市場の創造に努めてまいりました。

この結果、ペットケアの売上高は20,082百万円、セグメント利益（営業利益）は205百万円となりました。

#### ③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は1,230百万円、セグメント利益（営業利益）は33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて20,411百万円増加し、719,520百万円となりました。主な増加は、前払金の増加等によるその他流動資産50,429百万円であり、主な減少は、現金及び預金△24,166百万円、受取手形及び売掛金△6,990百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて14,966百万円増加し、221,231百万円となりました。主な増加は、短期借入金25,182百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金△4,388百万円、未払消費税の減少等によるその他流動負債△3,008百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて5,445百万円増加し、498,289百万円となりました。主な増加は、当第1四半期純利益5,778百万円、その他有価証券評価差額金2,666百万円であり、主な減少は、配当金の支払い△3,845百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は58.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成27年2月12日発表と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,781	114,614
受取手形及び売掛金	88,563	81,573
商品及び製品	30,654	32,815
原材料及び貯蔵品	29,972	28,941
仕掛品	1,806	1,208
その他	32,115	82,544
貸倒引当金	△121	△120
流動資産合計	321,772	341,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,355	72,634
機械装置及び運搬具(純額)	123,235	124,107
その他(純額)	42,491	44,195
有形固定資産合計	240,082	240,937
無形固定資産		
のれん	72,148	70,826
その他	24,030	23,544
無形固定資産合計	96,178	94,370
投資その他の資産		
投資有価証券	24,942	28,033
繰延税金資産	7,313	5,168
退職給付に係る資産	3,828	4,163
その他	5,081	5,361
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	41,074	42,635
固定資産合計	377,336	377,942
資産合計	699,108	719,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,586	87,198
短期借入金	27,979	53,162
未払法人税等	5,428	4,780
賞与引当金	5,027	3,373
その他	60,161	57,152
流動負債合計	190,183	205,667
固定負債		
長期借入金	5,420	5,094
退職給付に係る負債	4,348	4,499
その他	6,312	5,969
固定負債合計	16,081	15,563
負債合計	206,264	221,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	46,358	46,327
利益剰余金	334,558	336,492
自己株式	△28,667	△28,396
株主資本合計	368,242	370,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,329	13,995
繰延ヘッジ損益	65	65
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	44,426	43,557
退職給付に係る調整累計額	△4,254	△4,273
その他の包括利益累計額合計	51,410	53,188
新株予約権	238	206
少数株主持分	72,952	74,479
純資産合計	492,844	498,289
負債純資産合計	699,108	719,520



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	195,709	177,558
売上原価	110,729	99,327
売上総利益	84,979	78,231
販売費及び一般管理費	※ 66,461	※ 61,181
営業利益	18,517	17,049
営業外収益		
受取利息	558	414
受取配当金	151	1
助成金収入	347	7
未払配当金除斥益	—	1,028
その他	480	325
営業外収益合計	1,537	1,777
営業外費用		
支払利息	120	145
売上割引	1,195	964
為替差損	1,550	3,697
その他	186	28
営業外費用合計	3,053	4,834
経常利益	17,001	13,993
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産処分損	116	26
特別損失合計	116	26
税金等調整前四半期純利益	16,889	13,967
法人税、住民税及び事業税	3,943	2,789
法人税等調整額	1,018	2,933
法人税等合計	4,961	5,723
少数株主損益調整前四半期純利益	11,928	8,243
少数株主利益	2,847	2,464
四半期純利益	9,080	5,778

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,928	8,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	706	2,666
繰延ヘッジ損益	△4	△8
為替換算調整勘定	△9,510	△1,382
退職給付に係る調整額	195	△14
その他の包括利益合計	△8,613	1,260
四半期包括利益	3,315	9,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,528	7,557
少数株主に係る四半期包括利益	787	1,947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更等による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引き下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から平成28年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については33.06%に、平成29年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については、32.26%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は804百万円減少し、法人税等調整額が1,277百万円、その他有価証券評価差額金が683百万円、それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額が210百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
販売運賃諸掛	9,323百万円	8,942百万円
販売促進費	29,241百万円	29,847百万円
広告宣伝費	6,510百万円	4,566百万円
従業員給与・賞与	5,361百万円	4,516百万円
賞与引当金繰入額	925百万円	975百万円
退職給付費用	360百万円	485百万円
減価償却費	825百万円	928百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去又は 全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	174,881	19,496	1,331	195,709	—	195,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3	3	△3	—
計	174,881	19,496	1,335	195,713	△3	195,709
セグメント利益(営業利益)	17,512	941	62	18,517	0	18,517

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去又は 全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	156,245	20,082	1,230	177,558	—	177,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	156,245	20,082	1,235	177,563	△4	177,558
セグメント利益(営業利益)	16,810	205	33	17,049	—	17,049